

# オホーツク海 魚探情報 4月

平成25年4月26日発行

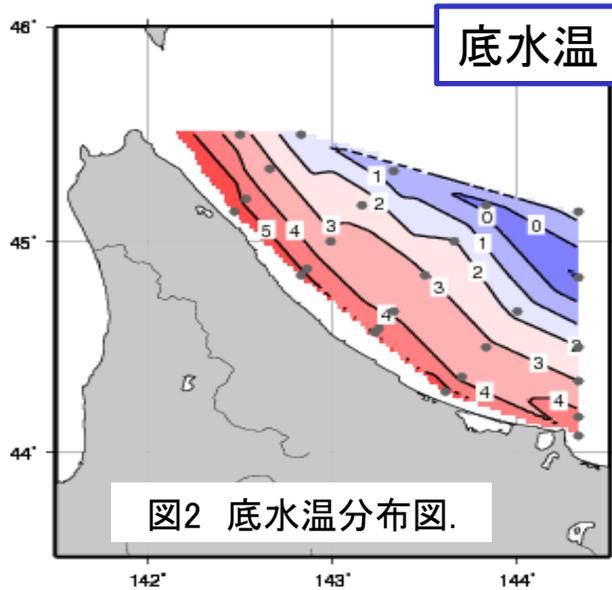
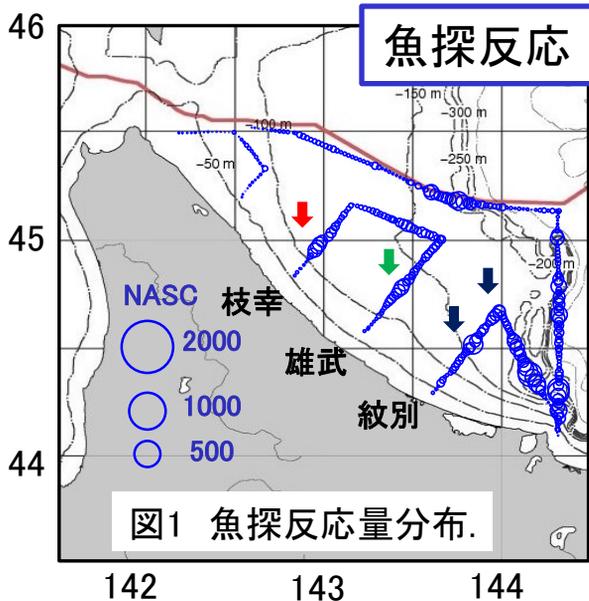
北海道立総合研究機構水産研究本部

稚内水産試験場

(0162-32-7166:板谷)

## 試験調査船「北洋丸」による魚探観測

平成25年4月22日～4月24日に実施したオホーツク海の計量魚探観測結果を報告します。



水深150m以浅の陸棚上のスケトウダラと思われる魚群反応は、底水温が4°C以下の海域に分布し、昨年までの3年と比べて少なくなっていました。今年の特徴として、北見大和堆周辺、紋別堆の南部といった深い海域に魚群が分布していました。

枝幸沖では水深130m, 雄武沖では水深140m, 紋別沖では160m, 180m付近に、まとまった魚群反応が見られましたが、反応量は昨年よりも少なくなっています。

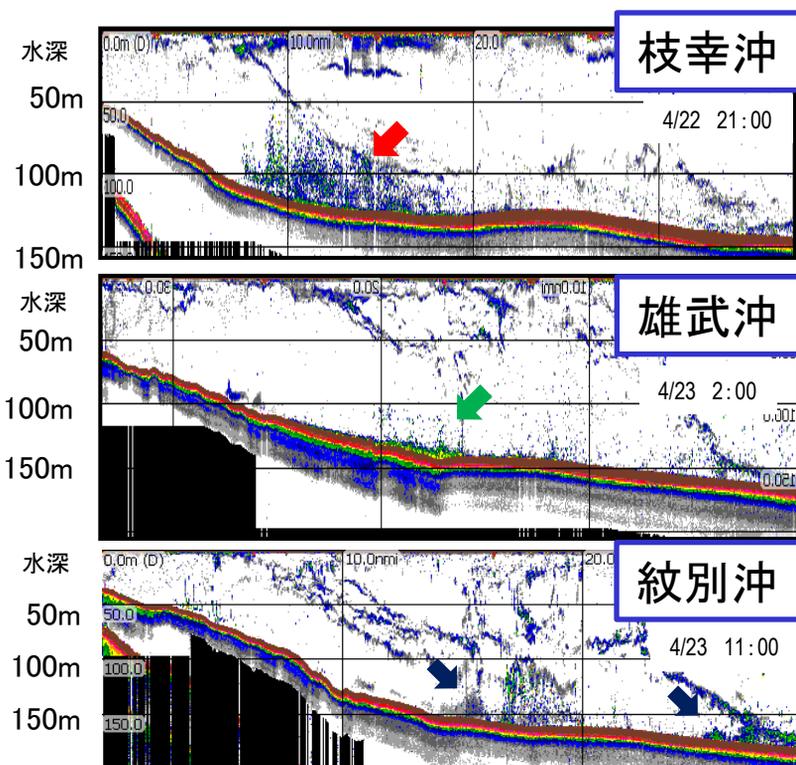


図3 魚探反応画像  
(枝幸・雄武・紋別沖, 矢印の色は図1に対応する).

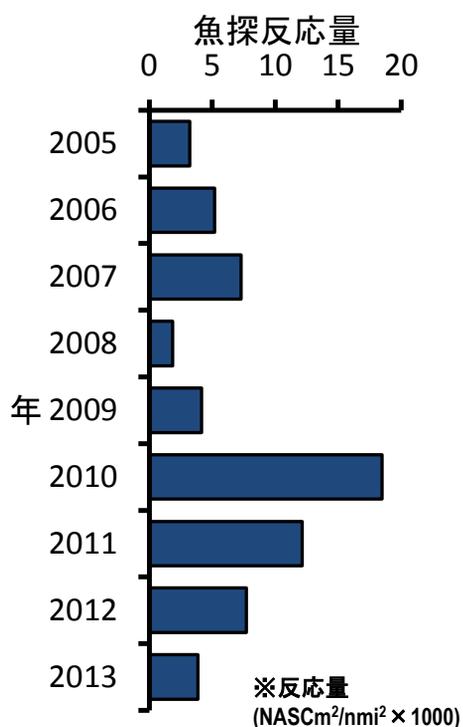
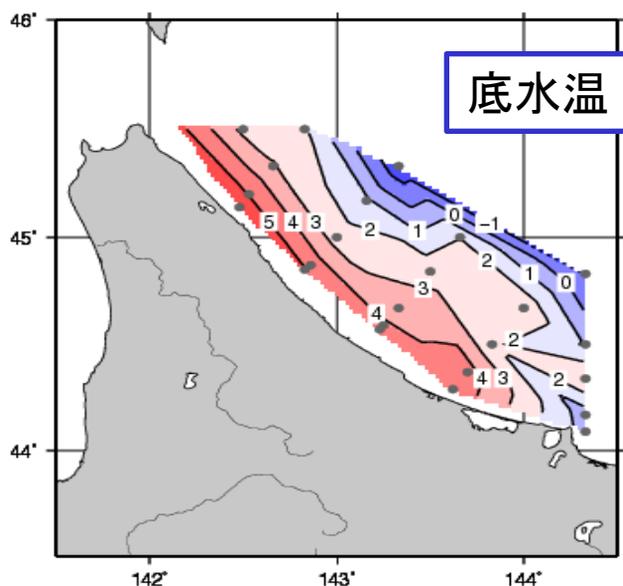
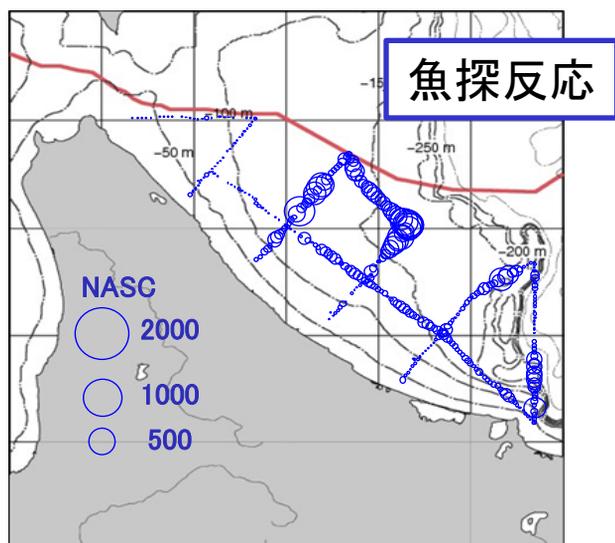


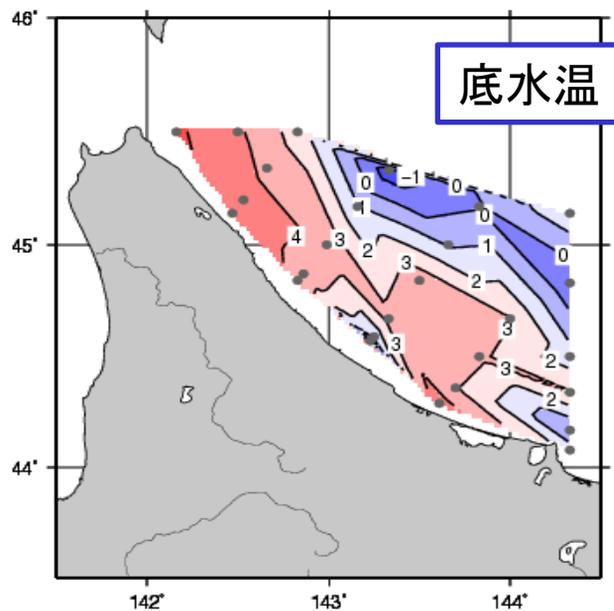
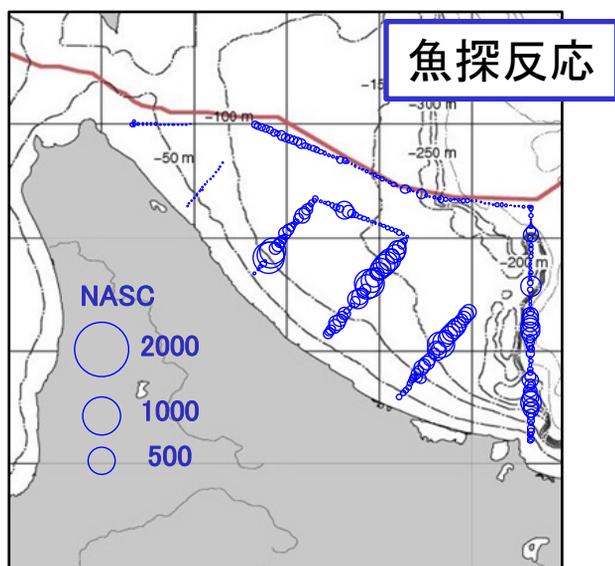
図4 魚探反応量の経年変化  
(枝幸～紋別の合計)

2013年の枝幸～紋別の魚探反応の総量は3.9km<sup>2</sup>/nmi<sup>2</sup>で昨年より半減し、来遊状況は2009年以前の少ない状況と考えられます。

2012年4月(平成24年)



2011年4月(平成23年)



2010年4月(平成22年)

